

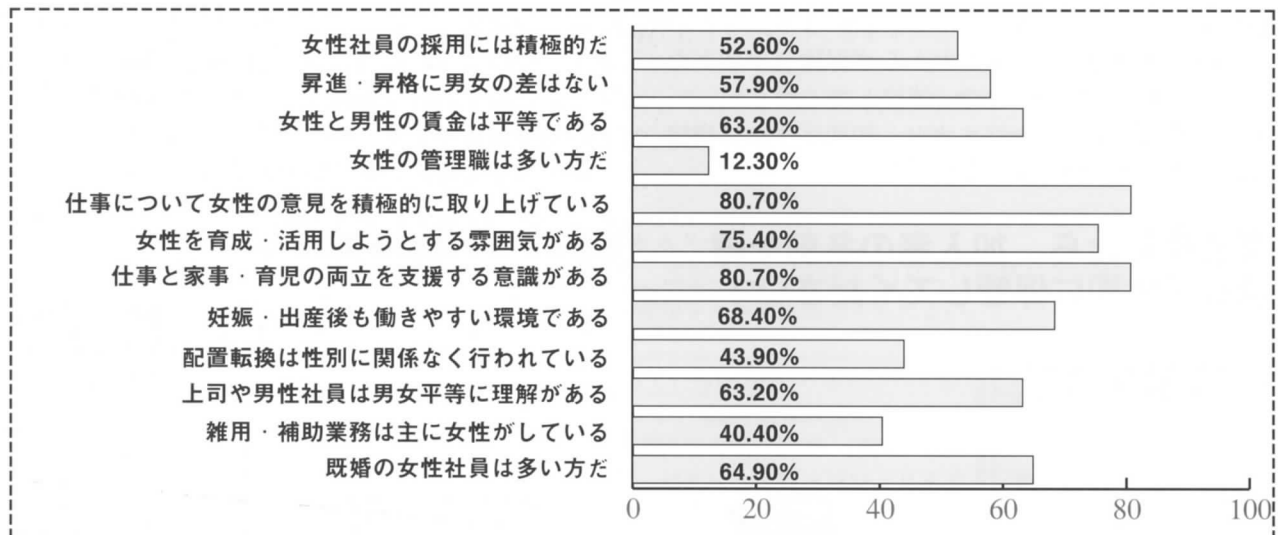
## 『職場での男女平等』

～「女性の雇用状況調査」(平成12年度実施) から～

2001年2月、「女性の雇用状況調査」が行われました。調査を依頼した105事業所の内57事業所より回答がありました(回答率:54.3%)。その中から「職場での男女平等度」について見ることにしました。(下図参照)

問、次の項目について、貴事業所ではどのような状況でしょうか。

(そう思う+どちらかといえばそう思う)の割合



## 雇用条件の項目について見てみると

- ・「女性社員の採用には積極的だ」→52.6%
- ・「昇進・昇格に男女の差はない」→57.9%
- ・「女性と男性の賃金は平等である」→63.2%

という割合になり、男性と同じ条件での雇用はまだ難しそうです。女性管理職も(12.3%)まだまだという感じです。別の資料によると正規の従業員より非正規の女性従業員の比率が上回っているというデータもあります。

## 仕事面の項目について見てみると

- ・「仕事で女性の意見を積極的に取り上げている」→80.7%
  - ・「女性を育成・活用しようとする雰囲気がある」→75.4%
- がかなり高い割合になっています。女性の能力が発揮されやすい環境になってきています。

女性が社会進出をするのに最も高いハードルは  
出産・育児です。この項目について見てみると

- ・「仕事と家事・育児の両立を支援する意識がある」→80.7%
  - ・「妊娠・出産後も働きやすい環境である」→68.4%
- という割合になり、妊娠・出産・育児に理解が示されるようになりつつあります。家事は分担できますが、妊娠・出産は女性にしかならない仕事です。そして乳幼児が必要とするのは母親です。安心して妊娠・育児に専念できるよう、さらに支援する意識が高まり環境が整うことを期待します。「女性の雇用状況調査」に見る「職場での男女平等度」、あなたの職場はいかがですか。

## 【コラム】「ぼくたち、わたしたちって」……？

小学校6年生の授業参観がありました。その時間は学級会で卒業へ向けてのテーマについて話し合う場面でした。提案されたテーマは、「わたしたちのめざす道へ、今…」質問や意見がたくさん出され、活発な話し合いの中で興味深い流れになりました。

★「わたしたち」の前に「ぼくたち」を入れた方がいいと思います。理由は、「わたしたち」だと女子だけというイメージが強いので、男子も女子もみんなという意味で「ぼくたち、わたしたち」にした方がいいと思います。

☆わざわざ、「ぼくたち」を入れなくても、「わたしたち」だけで「みんな」という意味になると思います。

★だったら「ぼくたちの…」でもいいんじゃないですか。

☆「ぼく」は男の子は使うけど、女の子は使いません。「わたし」は男でも女でも使います。

★この中に「わたし」なんて言っている男子はいないと思います。

☆今は使わないけど、大人になると男の人みんな「わたし」って言っています。

★そうかもしれないけど、でも「わたしたち」だけだと男子の存在感が薄い感じがするので、やっぱり「ぼくたち、わたしたち」にした方がいいと思います。

☆もし入れるのであれば、どうして「ぼくたち、わたしたち」になるんですか。「わたしたち、ぼくたち」だっていいと思います。

★ふつう「ぼくたち、わたしたち」と言います。「わたしたち、ぼくたち」ではおかしいと思います。……(以下略)

意見が出し尽くされた後、採決となりました。結果は圧倒的多数で「わたしたち…」に決定しました。最後まで「ぼくたち、わたしたち」にこだわり続けた男の子、そのこだわり真剣に一生懸命関わっていく仲間たち。小学生でもこんなに深く考えるんだ、と感心しました。普段、何気なく耳にする「ぼくたち、わたしたち」にこだわる子どもたち。そんな子どもたちの姿に男女共同参画社会の芽が感じられた授業参観でした。